

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)

【単独・連携事業】

市町名	日光市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール	総事業費	3,315,000	3,315,000	3,315,000	3,315,000	3,315,000	16,575,000
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
2	「空想博物館」・学校を ミュージアムにしよう!	総事業費	3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000	3,240,000	16,200,000
		うち市町支出額	1,900,000					1,900,000
		うち県交付金	950,000					950,000
3	子育て支援プロジェクト	総事業費	2,400,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	16,800,000
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
4	そばづくりを通じた地域 の生きがいをづくり事業	総事業費	865,600	865,600	865,600	865,600	865,600	4,328,000
		うち市町支出額	567,000					567,000
		うち県交付金	283,500					283,500
5	スケートの街日光を再 び盛り上げよう	総事業費	2,220,000	2,220,000	2,220,000	2,220,000	2,220,000	11,100,000
		うち市町支出額	706,000					706,000
		うち県交付金	353,000					353,000
6	中心市街地にぎわい創 出事業	総事業費	3,014,000	3,014,000	3,014,000	3,014,000	3,014,000	15,070,000
		うち市町支出額	1,650,000					1,650,000
		うち県交付金	825,000					825,000
7	日光けっこうフェスティ バル2016	総事業費	13,420,000	13,420,000	13,420,000	13,420,000	13,420,000	67,100,000
		うち市町支出額	7,470,000	7,470,000	7,470,000	7,470,000	7,470,000	37,350,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000			3,000,000
8	日光いろは坂女子駅伝 大会	総事業費	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	250,000,000
		うち市町支出額	25,000,000	25,000,000	25,000,000	25,000,000	25,000,000	125,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000			3,000,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	78,474,600	79,674,600	79,674,600	79,674,600	79,674,600	397,173,000
		うち市町支出額	41,293,000	32,470,000	32,470,000	32,470,000	32,470,000	171,173,000
		うち県交付金	6,411,500	2,000,000	2,000,000	0	0	10,411,500

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール
事業主体の名称	日光国際音楽祭実行委員会
代表者の名称	下司 愉宇起
事業主体の所在	東京都新宿区西新宿3-9-28-301
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 新たな日光の観光遺産としての礎を築く、日光発信による新人音楽家の発掘、日光地域文化の向上と市民への高レベルな音楽芸術を提供する</p> <p>・設立年:平成27年4月29日</p> <p>・構成員等:地元住民と音楽家 15名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は、2006年に今市、日光両市と藤原、足尾両町、栗山村の5市町村が合併して誕生したが、現在、少子高齢化・人口減少が大きな課題となっている。</p> <p>本市の特徴として、世界遺産の二社一寺や日光国立公園など豊かな地域資源を有する一方、合併後、クラシック分野の音楽祭やコンクール事業など、文化芸術分野での地域PRはほとんど実施できていなかった。</p> <p>今後、上記の課題解決のため、芸術文化面も含めて総合的・多面的な地域の魅力を発信し、観光地の優位性をさらに高め、来訪への期待感を醸成し、交流人口を増やす必要がある。</p>
事業目的	<p>「日光国際音楽祭 声楽コンクール」を開催することによって、日光連山の豊かな自然と有数の世界遺産を抱く日光から、世界的な声楽家を発掘する。</p> <p>・華蔵の瀧を登り龍となるごとく、このコンクールが声楽家の登竜門として発展してゆき、ここから誕生する声楽家たちが世界へ羽ばたいていってもらう。</p> <p>・また、ピアノやその他楽器よりも比較的華やかな声楽にすることで市外からの観客動員数を伸ばすとともに、地域市民の音楽への理解を深め、観光遺産として日光のブランドイメージの向上を図るとともに、交流人口を増やし移住・定住化を推進する。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール</p> <p>●予選:実行委員会による音源審査</p> <p>●本選:開催日時:平成28年10月9日 開催会場:日光街道ニコニコ本陣 多目的ホール</p> <p>本選では一人当たり演奏持ち時間10分間で競う。公開審査のため入場料は無料で、約300人の来場者を想定している。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>・日光市観光大使で、日本全国で数多くの合唱団を指導し自身も多くの楽曲を手掛けマルチに活躍する、声楽家・アーティスト『下司愉宇起』氏が主催団体の代表を務めていることから、知名度のある下司氏が積極的に音楽関係者に事業PRを行う。</p> <p>・事業のPRだけでなく観光PRにも力を入れ、市及び本大会のブランド力向上に繋げるため、全国の音楽大学への募集要項を送付し、著名な音楽家に審査委員を依頼する。</p> <p>(参考:第1回審査員長:東京藝術大学名誉教授・作曲家 佐藤真氏)</p> <p>【平成29年度】</p> <p>・地域活性化やコンクールの更なる発展を目指しながら、日光国際音楽祭 第三回声楽コンクールを継続して開催予定</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング H27:14位 → H31年度:10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール	日光国際音楽祭 第三回声楽コンクール	日光国際音楽祭 第四回声楽コンクール		日光国際音楽祭 第五回声楽コンクール
事業費	3,315,000	3,315,000	3,315,000	9,945,000	3,315,000
手続	市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000		2,000,000	0
	うち県交付金	1,000,000		1,000,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	1,315,000	3,315,000	3,315,000	7,945,000	3,315,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 嬬子
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	2,000,000	うち県費1,000,000円
参加費	1,315,000	予選 5,000円(175名)・本選 20,000円(22名)
計	3,315,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	967,400	500,000	250,000	467,400	審査員謝金、報償品費
旅費	102,200	100,000	50,000	2,200	審査員旅費
消耗品	63,700	60,000	30,000	3,700	ホール付属器具等
印刷製本費	100,000	100,000	50,000	0	ポスター、チラシ印刷費
通信運搬費	870,000	465,000	232,500	405,000	全国の音楽大学等へのチラシ郵送代
広告費	500,000	500,000	250,000	0	雑誌等広告料 HP管理費
手数料	64,000	64,000	32,000	0	ピアノ調律費
使用料及び賃借料	147,700	41,000	20,500	106,700	ホール、リハーサル会場使用料
備品購入費	400,000	170,000	85,000	230,000	Adobeソフト53,784円、 Microsoft office57,594円、Hp 整備ソフト32,184円、プリン ター30,934円、PC本体 225,504円
賃金	100,000	0		100,000	本選スタッフ賃金
計	3,315,000	2,000,000	1,000,000	1,315,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	「空想博物館」・学校をミュージアムにしよう!
事業主体の名称	シンブンシャ・プロジェクト
代表者の名称	荻原 純
事業主体の所在	日光市足尾町上の平2-15-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:</p> <p>(1) 子ども(未就学児童～中学生)を対象とする自由な発想を促す</p> <p>(2) 子ども(未就学児童～中学生)の社会体験を通じた幅広い年代との交流をはかる</p> <p>(3) 地域における文化事業の担い手を育成する</p> <p>(4) 歴史教育・環境教育・美術教育について、学校教育での内容を補完する</p> <p>・足尾町の空き店舗(元新聞配達店)を拠点とし活動する。</p> <p>・設立年月日:平成23年10月1日</p> <p>・構成員等:美術家、商工会、足尾中学校生徒ら合計16名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>少子高齢化率が日光市内でも高い足尾地域では、子どもたちが他地域の中学校へ学区を越えて入学するケースが多く、生徒数も減少しているため、地域住民の交流促進が課題となっている。</p> <p>一方で平成23年から、小学生や中学生が足尾町内の空き店舗(元新聞配達店)を拠点とし、様々な年代やアーティストとコラボレーションを行い、子供も町の人も、みんながアートの主役になる『アートプロジェクト』=シンブンシャプロジェクトが継続している。</p> <p>しかし、当団体の活動も含め、地域の人々が子どもたちの様子を知らない人が多いため、本地域に住む多くの人々が集まる拠点をつくり、持続可能なまちづくりを進める必要がある。</p>
事業目的	<p>・地域と中学校の連携を再構築し、子どもと地域の人々が交流できる拠点をつくる</p> <p>・過疎地域の中学校を、過疎地域ならではの魅力ある学校に変える</p> <p>・外国人作家を招き、他分野協働の取り組みや国際交流を図る</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>・足尾中学校の文化祭を「空想博物館」として公開</p> <p>・文化祭をシンブンシャ・プロジェクトの活動の一つとし、子どもたちが国内・国外の専門家を複数人選定し、学校や地域の人々と文化祭をつくりあげる。</p> <p>・文化祭では教室内に作家や技術者、音楽家を呼び、本格的な音楽機材を用いた演奏会を実施することで、芸術に関心のある人を呼び込む。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>・海外から音楽家、デザイナー、メディアアーティストをメンバーとしたオーケストラを招き、子どもたちと楽器演奏をする他、中学生とともに国際交流の視点から地域のリサーチ活動(ワークショップ等)を行う予定。</p> <p>・普段と異なる視点で地域を見ることで、地域の魅力や課題を知り、住みやすいまちづくりを考え、子どもたちから自由な形で情報発信を積極的に行う。</p> <p>・ポスターやチラシ、SNSを活用して市内外に広く周知することで、地域の活動を理解してもらい、居住しやすい環境整備を進める。</p> <p>・文化祭を外部に公開することによって、中学生たちと地域内外、多分野の人の出会いの場として地域の交流拠点となり、住民の市への愛着・住みやすさの向上に繋げる。</p> <p>【平成29年度】</p> <p>・引き続き、子どもたち主体の活動を展開し、地域の人々の理解をより深める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域特性に応じた持続可能な「まち」をつくる</p> <p>【KPI】居住意欲度ランキング(民間調査)</p> <p>H27:198位 → H31年度:150位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	シンブンシャ事業 ・空想博物館	シンブンシャ事業	シンブンシャ事業		シンブンシャ事業
事業費	3,240,000	3,240,000	3,240,000	9,720,000	3,240,000
手続	市町支出金 (ソフト事業分)	1,900,000		1,900,000	0
	うち県交付金	950,000		950,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	1,340,000	3,240,000	3,240,000	7,820,000	3,240,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 嬬子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「空想博物館」・学校をミュージアムにしよう!	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	1,900,000	うち県費950,000円
協賛金	300,000	(公財)朝日グループ芸術文化財団
自己資金	1,040,000	借り入れ及び新規での協賛募集
計	3,240,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	890,000	500,000	250,000	390,000	作家・技術者・専門家への謝金
消耗品費	230,000	150,000	75,000	80,000	イベント会場設置用材料費、画材
備品購入費	120,000	80,000	40,000	40,000	音響機材
印刷製本費	250,000	140,000	70,000	110,000	ポスター、チラシ印刷
旅費	1,450,000	900,000	450,000	550,000	国内専門家100,000円、国外演奏家1,000,000円、出張費
通信運搬費	120,000	60,000	30,000	60,000	チラシ発送費、機材の発送費
手数料	80,000	40,000	20,000	40,000	送迎車両
保険料	60,000	30,000	15,000	30,000	イベント会場保険(2日分)
光熱水費	40,000	0	0	40,000	活動拠点光熱費
				0	
計	3,240,000	1,900,000	950,000	1,340,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	子育て支援プロジェクト
事業主体の名称	一般社団法人 Japan元気塾
代表者の名称	古谷 真一郎
事業主体の所在	日光市土沢1855-5
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 個人々の職業能力開発訓練及び青少年の健全育成を通じ、日本国及び国際社会に寄与するために、普及啓蒙活動を行い、社会の問題解決を推進することを目的とする ・設立年月日:平成23年3月1日 ・構成員等:地元住民及び関係者17名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市はプロのアイスホッケーチームが拠点を置き、様々な種目においても日光出身の選手が活躍するなど、スポーツが盛んな地域性が大きな魅力の一つであるが、市民の間ではあまり知られていない。</p> <p>今後、交流人口増加を課題としている本市では、より効果的なシティプロモーションを推進するため、市民、企業、関係団体が連携しながら、まずは市民が本市の魅力的な地域性を知り、市民一人ひとりの意識・愛着度を向上させる機会・場を増やす取り組みが必要である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリートや専門家を招き、講演会やイベントを開催。レベルの高い指導のもとスポーツに触れることで、市民の意識の向上を図り、その重要性やトップアスリートたちが身近な存在だということを感じてもらう。 ・また当該事業を通じて市民・企業・関係団体との連携を深め、市内外に更なるシティプロモーションを推進し、市民の愛着度向上にも繋げることとする。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市出身や日光市在住のトップアスリートや専門家を招き、子供や親、教育関係者へむけたトークショーや講演会、イベント(スポーツ教室)を開催予定。(年3回を予定) ・当団体は、青少年の健全育成を目的としていることから、主なターゲットは子育て世代とする。 <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に関連のある講師が、子供、親世代へ向けたトークショーや講演会を行うことで、本市での子育ての楽しさや魅力を提供し、子育て環境の整備と愛着意識の向上を図る。 ・各イベントの周知には新聞広告やインターネットを活用し、市内外にも積極的にイベントをPRする。 ・各イベントでは、次の目的・狙いを達成できるものとし、参加者の満足度を高め、本市への愛着度向上を達成する。 <ul style="list-style-type: none"> ●子ども トップアスリートの指導やプレーに間近に触れてもらい、将来の夢を考えること、目標を達成することの大切さを提供するイベントを目指す。 ●親や教育関係者 イベントを通してスポーツをきっかけとした子どもの力の引き出し方やコミュニケーション法を学んでもらうイベントを目指す。 <p>【平成29年度】</p> <p>引き続き、講演やイベントを開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域特性に応じた持続可能な「まち」をつくる</p> <p>【KPI】市民の愛着度(市民意識アンケート調査)</p> <p>H27:75.2% → H31年度:85%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・トップアスリート、専門家を招いたトークショー等のイベント開催	・トップアスリート、専門家を招いたトークショー等のイベント開催	・トップアスリート、専門家を招いたトークショー等のイベント開催		・トップアスリート、専門家を招いたトークショー等のイベント開催
事業費	2,400,000	3,600,000	3,600,000	9,600,000	3,600,000
手続	市町支出金 (ソフト事業分)			2,000,000	0
	うち県交付金	1,000,000		1,000,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	400,000	3,600,000	3,600,000	7,600,000	3,600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 頌子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	子育て支援プロジェクト	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	2,000,000	うち県費1,000,000円
自己財源	400,000	協賛金(1社)
計	2,400,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	900,000	900,000	450,000	0	ゲスト謝金 150,000円×3名×2回開催
旅費	300,000	300,000	150,000	0	ゲスト旅費 50,000円×3名×2回開催
消耗品費	50,000	50,000	25,000	0	会場設営用ガムテープ等
燃料費	50,000	50,000	25,000	0	外部スタッフ車ガソリン代
印刷製本費	50,000	50,000	25,000	0	チラシ等印刷代
広告費	200,000	100,000	50,000	100,000	新聞広告、インターネット広告
手数料	300,000	200,000	100,000	100,000	映像、音響、照明の調整
使用料及び賃借料	400,000	300,000	150,000	100,000	会場使用料
備品購入費	50,000	50,000	25,000	0	会場設営用備品(配線等)
賃金	100,000	0	0	100,000	外部スタッフ賃金
計	2,400,000	2,000,000	1,000,000	400,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	そばづくりを通じた地域生きがいつくり事業
事業主体の名称	栗そば会
代表者の名称	福田 正文
事業主体の所在	日光市黒部116
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の協働活動により日光市栗山地域の環境及び経済の改善、魅力を高める。 ・設立年月日:平成26年5月23日 ・構成員等:地元住民16名
当該事業に係る地域の現状と課題	栗山地域は、高地の冷涼な気候を生かした香り高いそばの生産が盛んだったが、近年は鳥獣害被害や高齢化により多くが遊休農地となっている。 本市の課題である急速な人口減少・人口流出を抑制し、市内への定住促進を図るためには、当該地区のような遊休農地の再生とともに、地域間の協力体制を構築など、暮らしやすい環境づくりが課題となっている。
事業目的	「栗そば会」では、地区年代を越えた協力体制を構築し会員や協力者とともにそばに関する活動を行っている。 そばづくりを通して地域の中学校と共同作業を行い、また観光ツアーの一つとしてそばづくり体験を実施することで、地域と外部をつなげながら、交流人口増加、ブランド力向上、更に市内に住み続ける人の満足度向上を狙う。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>①そばづくり 6月下旬～10月上旬にかけ、そば畑の土づくりから刈り取り、脱穀を行う。 鎌を使っての土づくりは地元中学生の貴重な体験学習であり、本市に魅力を感じ、将来に渡って住み続けてもらうきっかけとする。 また、会員だけでなく多くの協力者、普段顔を合わせることの少ない地元の人も参加し、種まき・土寄せ・刈り取り・脱穀を行うことで、世代・地域交流の場とする。</p> <p>②栗山そば刈り取り体験(鬼怒川源流栗山ツアー) 平成28年9月17日開催予定 県内外から希望者を募集し、そばの刈り取り体験だけでなく、栗そば会の活動や、栗山地域の魅力を伝える。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記①、②を栗山の情報サイト等で広報することにより、市内外の様々な人が交流する機会を設ける。 ・そば等級検査を実施することで、「よりおいしいそば作り」に向けて参加者の一体感を強める。 ・楽しみながらそば作りをする活動、ツアー参加者の感想などを情報サイト等を活用し広く情報発信することで、市外から人を呼び込み、交流人口の増加に繋げる。 <p>【平成29年度】</p> <p>引き続きそばづくりを行う。さらに会員や協力者を積極的に受け入れる活動をする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】日光市に住み続けたい市民の割合 H27:73.8% → H31年度:80%(市民意識アンケート調査)</p> <p>地域ブランド調査魅力度ランキング H27:14位 → H31年度:10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・そばづくり ・観光イベントの開催	・そばづくり ・観光イベントの開催	・そばづくり ・観光イベントの開催		・そばづくり ・観光イベントの開催
事業費	865,600	865,600	865,600	2,596,800	865,600
手数	市町支出金 (ソフト事業分)	567,000		567,000	0
	うち県交付金	283,500		283,500	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	298,600	865,600	865,600	2,029,800	865,600

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 頌子
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	そばづくりを通じた地域の生きがづくり事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	567,000	うち県費283,500円
年会費	8,500	会員数(17人)×500円
イベント収入	30,000	鬼怒川源流・栗山ツアー開催収入
自己資金	260,100	前年度そば売上
計	865,600	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
消耗品費	236,600	212,000	106,000	24,600	防鳥・獣ネット(@19,332×10)、用紙代、文具用品
燃料費	30,000	30,000	15,000	0	耕作機械等燃料費
食糧費	70,000	0	0	70,000	作業時の飲み物
修繕料	10,000	10,000	5,000	0	耕作機械修繕料
通信運搬費	11,000	11,000	5,500	0	チラシ郵送分切手代
手数料	40,000	0	0	40,000	作業参加者保険代
手数料	4,000	4,000	2,000	0	そば等級検査手数料
使用料及び賃借料	150,000	100,000	50,000	50,000	調整・製粉機借入代
備品購入費	314,000	200,000	100,000	114,000	手回し式とうみ34,000円・稲刈りバインダー191,000円・稲刈りバインダー調整備品89,000円
				0	
				0	
				0	
計	865,600	567,000	283,500	298,600	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	スケートの街日光を再び盛り上げよう
事業主体の名称	日光スケーターズクラブ
代表者の名称	若林 勇太
事業主体の所在	日光市所野2830-11
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:日光市のスケート文化の発展による地域活性化に寄与する ・設立年月日:平成26年4月1日 ・構成員等:地元住民及び関係者10名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市においては、スケートがポピュラーなスポーツとして定着し、競技レベルが高く、全国有数の先進地となっているが、近年は児童生徒数減少に比例し、スケート実践者が減少傾向にある。本市の人口減少を抑制し、市外への転出を食い止めるには、暮らしやすい環境づくりの提供を推進する必要があるが、首都圏にはない本市の地域特性を活かしきれていない。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・スケートを通してスポーツの魅力と楽しさ、子どもたちに成長の機会を提供し、日光市のスポーツ文化の発展に伴う、地域活性化に貢献する。 ・本事業を実施することで、スケート先進地のメリットを活かした本市のブランド力・住みやすさを向上させ、人口の転出抑制に繋げる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【事業】</p> <p>①住民の満足度、子供の競技レベルの向上を図るため、トップアスリートを招いたスケート教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日:今年度内に10回程度 ・対象:市内の小中学生 ・内容:全国トップクラスで活躍した元選手が、参加者の年齢・体格・レベルに適した丁寧な指導を実施。スピード・フィギア・ホッケーは問わず、共通する基礎的技術を磨くもので、どの分野でも活躍できるスキル習得を目指す。 <p>②一般市民向けのスケート普及事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケート靴の貸し出し <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体のHPでスケート教室の告知・開催状況・子供たちの感想等を掲載し、更なる参加者の増加、満足度向上を狙う。 ・無料でスケート靴を貸し出し、貸し出した靴は子どもたち自らスケートに親しんでもらうため、スケート教室以外でも使用可能としている。 ・スケートをきっかけにスポーツの魅力と楽しさを伝え、子供たちに成長と可能性を広げる機会とすることで、日光市ならではのスケートを身近に体験できる恵まれた環境を提供し、市民に暮らしやすさや住み続けたい魅力を感じてもらおう取組とする。 <p>【平成29年度】</p> <p>引き続き、平成28年度同様に事業を行う。地元企業、団体、地域の人々と協力し、スポーツと地域社会が共存する関係づくりを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】日光に住み続けたい市民の割合</p> <p>H27:73.8% → H31年度:80%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スケート教室の開催 ・市民向けの普及事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケート教室の開催 ・市民向けの普及事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケート教室の開催 ・市民向けの普及事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・スケート教室の開催 ・市民向けの普及事業
事業費	2,220,000	2,220,000	2,220,000	6,660,000	2,220,000
手数	市町支出金 (ソフト事業分)	706,000		706,000	0
	うち県交付金	353,000		353,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	1,514,000	2,220,000	2,220,000	5,954,000	2,220,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係	
担当者名	森 嬪子	
連絡先	電話	0288-21-5147
	FAX	0288-21-5109
	E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	スケートの街日光を再び盛り上げよう	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	706,000	うち県費353,000円
スケート教室参加料	915,000	一般 2,500円(初回500円)、シーズン会員(11~2月)15,000円
自己財源	599,000	協賛金(2社)
計	2,220,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	550,000	200,000	100,000	350,000	外部講師謝金
消耗品費	141,600	46,000	23,000	95,600	事務用品
燃料費	500,000	125,000	62,500	375,000	インストラクター高速道路利用料、ガソリン代
広告費	180,000	60,000	30,000	120,000	ウェブサイト関係費用、チラシ製作費
保険料	40,000	0	0	40,000	スポーツ安全保険
委託料	50,000	0	0	50,000	スケート靴メンテナンス
備品購入費	458,400	125,000	62,500	333,400	スケート靴@19,800×10足=198,000円、スケート靴修理用部品44,400円、インストラクターユニフォーム21,600×10着=216,000円、
使用料及び賃借料	300,000	150,000	75,000	150,000	スケートリンク滑走料
				0	
				0	
計	2,220,000	706,000	353,000	1,514,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	中心市街地にぎわい創出事業
事業主体の名称	にぎわいのあるまちづくり研究会
代表者の名称	古峯 重典
事業主体の所在	日光市今市716
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:①中心市街地活性化のための事業 ②地域住民の交流、地域リーダーの育成 ・設立年月日:平成16年8月2日 ・構成員等:地元住民及び関係者11名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市の中心市街地は古くから日光街道・会津西街道など主要幹線道路の接続点に位置し、今市宿として賑わっていたが、市郊外の道路網の整備に伴い、大型小売店やロードサイドショップ等が相次いで出店したことにより、中心部は空き店舗が目立ち商店街の衰退が進行している。 人口減少等の課題解決を図るため、新たな人を市内に呼び込み、商店街の活性化に取り組む必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化事業の継続実施 ・長年続いている「六齋市」を毎月実施することに加え、実験的事業を行うことで活性化を図る。また、地元商店街やまちづくり団体等と連携し、集客施設来訪者の周辺への回遊性を高める。 ・集客施設来訪者の増加により、市内経済の更なる活性化、安定した生活を支える「しごと」づくりに繋げる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>①「六齋市」の開催(毎月第3土曜日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地にぎわいづくりを目的としてJR今市駅通りを中心に、地域手作りのあたたかさを感じる地元の野菜や地場産品、アクセサリー、手打ちそばなど20店舗以上が出店し、地域住民と商業者が交流を深める、「市」を開催する。 ・六齋市と併せて、「スポーツカフェ」「よみがえれ今市の昭和」「まち中おまつり広場」等の実験的事業を実施する。 <p>②「やきそばまつり」の開催(年3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地集客施設に人を呼び込むため、今市のメインストリートで実施する。 <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPや新聞折り込みチラシ、PRチラシを市の各イベント等で配布することで、六齋市に人を呼び込み、更に普段車で行き来する区間を歩行者天国にすることによって、中心市街地集客施設である「ニコニコ本陣」にまで人を周遊させる。 ・実験的事業では地元商店街やまちづくり団体と共に話し合いを重ね、一緒に事業内容を組み立てることで、関係者同士の繋がりを築いていく。 <p>【平成29年度】</p> <p>引き続き、六齋市の開催と地元商店街等と連携した実験的事業を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して働くことができ、安定した生活を支える「しごと」をつくる</p> <p>【KPI】中心市街地集客施設来場者数</p> <p>H31年度:年間490,000人</p> <p>※H27は「ニコニコ本陣」がオープンしたため、862,790人が来場し、戦略策定時の数値を上回った。新たな数値設定は検討中。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・六齋市、やきそばまつり運営費	・六齋市、やきそばまつり運営費	・六齋市、やきそばまつり運営費		・六齋市、やきそばまつり運営費
事業費	3,014,000	3,014,000	3,014,000	9,042,000	3,014,000
手数	市町支出金 (ソフト事業分)	1,650,000		1,650,000	0
	うち県交付金	825,000		825,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
	その他自主財源等	1,364,000	3,014,000	3,014,000	7,392,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 嬪子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	中心市街地にぎわい創出事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	1,650,000	うち県費825,000円
事業収入	1,300,000	六斎市出店料、やきそばラリー券
光熱水費	10,000	イベント会場の電気料・水道代
負担金	54,000	研究会費
計	3,014,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	176,000	170,000	85,000	6,000	ガス風船、餅つき材料、皿・割り箸
通信運搬費	64,500	64,000	32,000	500	郵便切手、レターパック(@500)
広告費	660,000	660,000	330,000	0	新聞折り込みチラシ
保険料	25,000	25,000	12,500	0	イベント保険
印刷製本費	470,000	450,000	225,000	20,000	チラシ、ポスター印刷代
手数料	1,250,000	0	0	1,250,000	やきそばラリー券換金(店舗売上)代
修繕料	238,000	238,000	119,000	0	会場設営用テント、看板修繕料
光熱水費	43,000	43,000	21,500	0	イベント会場水道代電気代負担
賃金	87,500	0	0	87,500	スタッフ人件費
				0	
計	3,014,000	1,650,000	825,000	1,364,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光けっこうフェスティバル2016
事業主体の名称	日光けっこうフェスティバル実行委員会
代表者の名称	斎藤 文夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 気候が比較的安定し空気の澄む秋に花火大会のほか自然に親しむイベントを開催し、市民及び近隣市町村住民並びに行楽のお客様に印象に残る日光の秋を楽しんでいただき、10万人の集客を目標とする日光の新たな名物を創出していく。</p> <p>・設立年月日:平成7年4月1日 ・構成員等:市内各種団体長等80名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>世界遺産の二社一寺や日光国立公園を有する当市は1年を通じて多くの観光客が訪れ、中でも秋は紅葉により観光客が特に増加するが、市外からの観光客と地域住民との交流の機会がないため、地域の魅力を広く効果的に発信できていない。</p> <p>よって、多くの集客・リピーターが見込める秋に、観光客・地域住民の多様なニーズに応え、地域人も巻き込むイベントを実施することにより、国際的な観光都市としての当市のブランド力をより一層向上させ、交流人口の更なる増加とひいては移住・定住に繋がる機会を創出する必要がある。</p>
事業目的	<p>・イベントを通して日光の強みである観光の部分を中心に日光市の魅力を発信し、交流人口の増加を目指す。 ・観光客のニーズに応えるため、地域の商店と連携し、誰にでもやさしい観光のまちづくりを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】 【概要】 ①日光運動公園にて、以下の様なイベント実施やブースを設置し、市の魅力発信を行う。(10/8) ・日光下駄飛ばし選手権大会 ・関東一芋煮会 ・石ころアート体験コーナー ・健康増進啓発コーナー ・警察や消防による、砂防・防災コーナー ・フリーマーケットやファミリーイベント 等 ・模擬店を出店(※会場に出店する模擬店は市内で募集) ②日光秋の花火(10/8)を大谷川河畔で実施 ③日光伝統工芸品展示審査会(10/6~10/9)を日光木彫りの里工芸センターにて開催</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・日光下駄飛ばしや石ころアート体験により地域住民・観光客が交流できるブースを設け、日光伝統工芸品展示会を同時開催することによって、地域資源を活かした体験型・交流型の要素を取り入れながら、各地域の自然・歴史・文化・伝統産業など日光市の魅力を幅広く発信し、交流人口増加、定住化を推進する機会とする。 ・模擬店では市内の味自慢のお店以外にも、健康増進啓発コーナー、警察や消防による、砂防・防災コーナーを設けることで、市の観光面だけではなく、住民に寄り添った生活情報を発信し、交流人口を移住・定住に繋げる。 ・また、県内外にHPやチラシによりイベントのPRを行い、当日は東武日光駅から無料シャトルバスを提供することで、多く人が参加しやすいよう準備を進める。 ・日光秋の花火は、種類・構成等に演出を凝らしショー的要素を強調した近辺に類をみない花火大会となっており、集客効果が高いこのイベントを夜に開催することによって、宿泊も含めて観光客を長時間滞在させ、地域経済の活性化や日光市の魅力を発信する機会の増加が期待できる。</p> <p>【平成29年度】 平成28年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光けっこうフェスティバル2016の開催	日光けっこうフェスティバル2017の開催	日光けっこうフェスティバル2018の開催		日光けっこうフェスティバル2019の開催
事業費	13,420,000	13,420,000	13,420,000	40,260,000	13,420,000
市町支出金 (ソフト事業分)	7,470,000	7,470,000	7,470,000	22,410,000	7,470,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5,950,000	5,950,000	5,950,000	17,850,000	5,950,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 颯子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	日光けっこうフェスティバル2016	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
日光市補助金	7,470,000	うち県費1,000,000円
イベント収入	550,000	参加料等 (屋台横丁出店料1店あたり10,000円×最大12店、 フリーマーケット1区画あたり1,000円×130区画、 花火特別観覧席1席あたり1,000円×300席)
協賛金	5,400,000	各種団体及び企業等 (協賛企業287社)
計	13,420,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	2,000,000	2,000,000	300,000	0	講師謝金1200千円、イベント 景品等800千円
消耗品費	2,720,000	0	0	2,720,000	皿・割り箸・スタッフTシャツ等
印刷製本費	2,000,000	2,000,000	300,000	0	チラシ印刷1,500千円、ポス ター印刷500千円
通信運搬費	700,000	0	0	700,000	関係機関書類送付用郵券代
保険料	50,000	0	0	50,000	イベント保険
委託料	3,000,000	970,000	0	2,030,000	シャトルバス運行、警備業務 委託
使用料及び賃借料	2,450,000	2,000,000	300,000	450,000	会場使用料1,500千円、イベン ト用品レンタル料950千円
備品購入費	500,000	500,000	100,000	0	大鍋¥100,000×2、日光下駄 ¥15,000×10、軽スポーツ器 具¥50,000 テント¥50,000× 2
				0	
				0	
計	13,420,000	7,470,000	1,000,000	5,950,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光いろは坂女子駅伝大会
事業主体の名称	『日光をランナーの聖地』とする実行委員会
代表者の名称	斎藤 文夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: <ul style="list-style-type: none"> ○日光いろは坂女子駅伝の開催に必要な準備と大会の運営に関する事業を行うことを目的とする。 ○市内でのマラソン大会の実施。地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献する。 ・設立年月日:平成25年11月29日 ・構成員等:各種団体長等187名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>日光市の観光資源である「いろは坂」をコースに含む女子駅伝大会を実施することで、地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献することが期待できるが、今年が第3回目で開催して間もない大会のため、知名度が高くなく県内外に大会の存在・魅力を十分にアピールできていない。</p> <p>本大会の参加者資格は日本学生陸上競技連合に登録している現役大学生や登録経験がある卒業生と定められており、参加者のレベルは高いため、当市の新たな地域資源・観光情報として成長させ、ブランド力を向上させる取組の一つとするためには、今後も大会を継続的に実施し、更に発展させていくことが重要である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の大学チーム(主に関東圏を中心とした)に参加を募り、将来的には「男子の箱根、女子のいろは」と呼ばれるような大会にすることを目的とし、日光市のブランドイメージの向上を図る。 ・大会情報に加え、本市の豊富な地域資源・観光情報を併せてテレビやラジオ、インターネットによって発信することで、本市の地方創生を推進させ、ブランド力を向上させる取組の一つとする。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>日時:平成28年11月27日(日) 午前8時30分～</p> <p>コース:日光だいや川公園から日光二荒山神社中宮祠までの6区間23.4kmの標高差約875mのコース</p> <p>参加チーム:15大学16チーム(学生チーム(現役学生のみ)、混合チーム(現役学生及びOG))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の様態をテレビで放映し、大会及び日光市の魅力を全国に広く発信する。 ・表彰式は日光二荒山神社参集殿で行い、日光杉を使用したトロフィーや、日光彫りの楯などを賞品として提供する。 ・「オフィシャル応援バスツアー」の実施。 <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ放映のほか、大会の映像・写真・記事・個人記録などは、ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体で積極的にPRすることで、世界遺産だけでなくマラソンやアイスホッケー等のスポーツも盛んな本市の魅力を広く発信し、更に多くの人を呼び込むための取り組みとする。 ・優勝杯は日光杉並木の並木杉を使用し、世界遺産を守る職人が二社一寺と同じ材料を用いて、漆塗り・金箔・彩色を施している。また、優勝の文字と大会名などは日光の伝統工芸である日光彫りによるものであり、地域の魅力あふれる文化・伝統産業をPRする。 ・応援バスツアーの実施によって地域経済の活性化に繋げ、参加者には大会の応援だけでなく、ツアー中で本市の持つ地域資源に触れる機会を増やすことで、大会開催を契機とした更なる観光客の取り込みと交流・定住人口の増加を目指す。 <p>【平成29年度】</p> <p>平成28年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内</p> <p>H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光いろは坂女子駅伝大会の開催	日光いろは坂女子駅伝大会の開催	日光いろは坂女子駅伝大会の開催		日光いろは坂女子駅伝大会の開催
事業費	50,000,000	50,000,000	50,000,000	150,000,000	50,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	25,000,000	25,000,000	25,000,000	75,000,000	25,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	25,000,000	25,000,000	25,000,000	75,000,000	25,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 颯子
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	日光いろは坂女子駅伝大会	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市町支出金	25,000,000	うち県費1,000,000円
協賛金	24,665,000	各企業等協賛金 (協賛企業約100社)
その他	335,000	前年度繰越金
計	50,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考
		市町支出額	自主財源等	
			県交付金	
報酬	1,325,000	0	0	1,325,000 事務局長給与、保険料等
報償費	1,160,000	1,160,000	100,000	0 医師・看護師謝金160千円、 審判謝金300千円、賞品・メ ダル等700千円
旅費	5,264,000	3,000,000	200,000	2,264,000 参加校宿泊・交通費@18,000 ×16人×18チーム=5,184千 円、事務局旅費80千円
消耗品費	515,000	515,000	100,000	0 のぼり旗・応援用小旗作成 費等500千円、事務用品等15 千円
食糧費	550,000	300,000	100,000	250,000 選手向け補給・おもてなし用 食品400千円、審判員・来賓 等飲み物150千円
印刷製本費	1,300,000	1,300,000	200,000	0 ポスター・プログラム・ID等印 刷代1300千円
通信運搬費	150,000	150,000	75,000	0 郵送切手代100千円、電話料 50千円
広告費	10,700,000	10,700,000	225,000	0 新聞広告料700千円 番組制作、放映料等10,000 千円
手数料	10,000	10,000	0	0 振込手数料等
保険料	20,000	0	0	20,000 スタッフ、選手保険料
使用料及び賃借料	590,000	590,000	0	0 大会本部会場使用料、複合 機レンタル料等
委託料	28,416,000	7,275,000	0	21,141,000 沿道対策、会場管理・演出委 託料等
計	50,000,000	25,000,000	1,000,000	25,000,000

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合